

茶ヶ床園地駐車場～中峠～広谷湿原～青龍窟～鬼の唐手岩～広谷台  
～舗装道路～四方台～貫山～四方台～中峠～茶ヶ床園地駐車場

## 茶ヶ床園地からの 貫山

2020年8月9日

平尾台で夏の花を觀賞したいと思い、気合を入れて炎天下を歩いた。  
早朝7時30分に茶ヶ床園地駐車場に到着したが、なんと既に満車状態。仕方がないのでトイレ横の、駐車可能な路上スペースに停めることにした。さて、今日は初めてのコースも歩きたいと考えているので、プチ探検がどのような山行になるのか楽しみである。



ノヒメユリの鮮やかなオレンジ色が、草原大地の中で際立っていた。

### <コース概要>

1、茶ヶ床園地駐車場 8時00分 ～ 2、中峠 ～ 3、広谷湿原 ～ 4、青龍窟 ～  
5、鬼の唐手岩 ～ 6、広谷台 ～ 7、舗装道路 ～ 8、四方台 ～ 9、貫山 ～  
10、四方台 ～ 11、中峠 ～ 12、茶ヶ床園地駐車場 13時40分



1、茶ヶ床園地駐車場 8時00分 出発  
早朝、駐車場に到着したが、既に満車。  
朝日が眩しい！今日は暑くなりそうだ。



トイレの横から



こんもりとした森を抜けると・・・



広々としたカルスト台地(正面奥は大平山)



車両通行止めの鎖を越えると夏花が・・・



カラスウリ



メマツヨイグサ



ムラサキツメクサ

舗装道路をお花鑑賞しながらゆっくり歩いていく



中峠のすぐ手前に、分岐がある。ここを右へ進み急登を上ると、周防台～桶ヶ辻～天狗岩の稜線歩きが出来る。運が良ければ桶ヶ辻でパラグライダーも見ることが出来る。  
この時期は笹が覆い茂り、道が隠れて歩き難い！当然藪漕ぎとなるコースも出てきそうだ。  
こっちのコースもいいなあ～と思いつつ、今日は広谷湿原のサギソウ鑑賞が主目的なので、ここはグッと我慢して通過。



まっすぐ中峠へと向かう。



沿道のピナクル(石灰岩)



シシウド



2、中峠 8時19分 直進

直進すると最初の目的地である広谷湿原。左に曲がると、貫山、四方台、岩山、キス岩、大平山と表示してある。それぞれ、登山道の今後の標識を注意しながら歩くと問題ないが、見落とすと「あれっ～どっち？」という事になり兼ねない。ここから先は、地図も併用してルートを確認しよう！



ゴミ捨て、車両乗り入れ、盗掘は 厳禁！

茶ヶ床園地から中峠までは舗装道路の一本道。迷うことはありません！  
中峠の分岐では、広谷湿原を目指して更に直進！



ヒメジヨオン



コウゾリナ

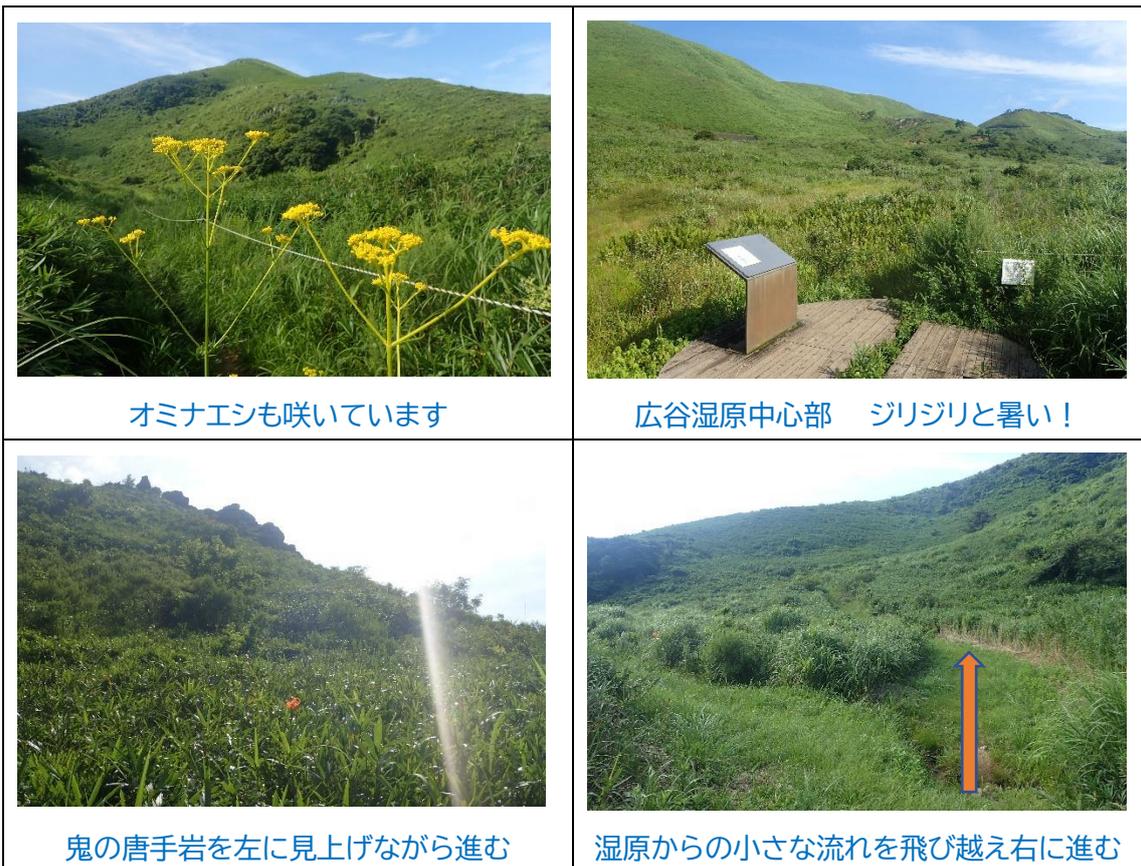
	<p><b>危険！注意！ 8時31分</b>          舗装道路の路肩がえぐれて崩れている。          セーフティーコーンが置いてあるので気が付いた。辺りを見ると補修跡があるので、ここは以前も崩れた場所なのだろう。          数人で歩いておしゃべりでもしていると、注意散漫で足を踏み外して落ちるかも？          早く再補修をお願いしたいですね。</p>
	<p><b>3、広谷湿原 8時32分</b>          ここから広谷湿原に足を踏み入れる！</p>  <p>マムシ注意</p>



サギソウ発見！ 運よく1輪咲いていました。



コオニユリの堂々とした雄姿





道は徐々に上りになり、歩を進めるにつれ、鬼の唐手岩が同じ目線になってきた。9時00分  
谷底からゴォーゴォーと水の流れる音が響く。きっと滝不動の滝の落ちる音だ！

	<p>青龍窟への分岐 9時03分</p>
<p>ウツボグサ</p>	<p>ウマノアシガタ？</p>

分岐から足下の小さな花を見付けながら下ること7分。青龍窟の入り口に到着！

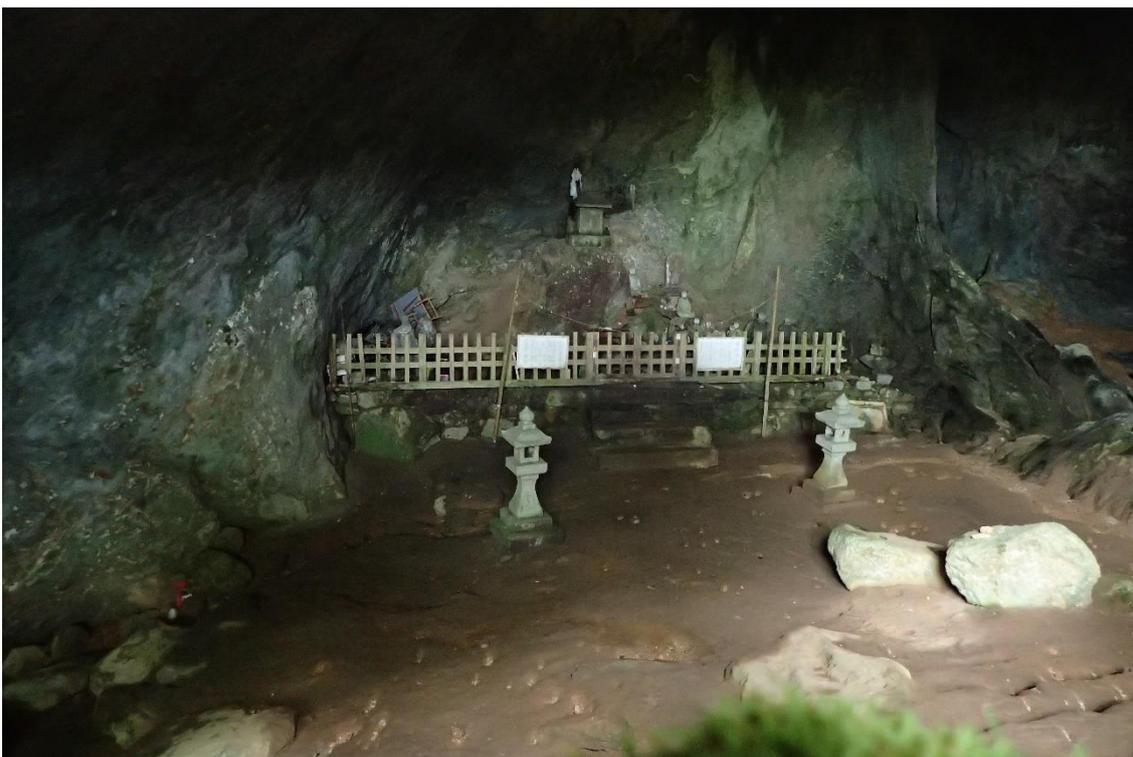


4、青龍窟 9時10分

ポツカリと口を開ける洞窟。ちょっと怖い。



何か見える



青龍窟内部 9時18分 ひんやりして気持ちいい～。 入り口でお参りました。  
洞窟内は暗い。ジメジメとして岩が濡れていたり、苔で滑りやすいので要注意。



青龍窟説明板

青龍窟は北九州国定公園のカルスト台地平尾台のなかでも最大級の鍾乳洞窟です。地下川が石灰岩を侵食したことにより、高度差50m以上の複雑な洞窟を形成しています。洞窟内部は迷路のように入り組み、多くの神秘的な鍾乳石が見られます。

(説明版より抜粋)

青龍窟を後にして、今来た道に戻ります。向かうは鬼の唐手岩！



ヤマハギ？



センニンソウ



青龍窟への分岐に戻ってきた 9時31分  
ここを右に進んで広谷台方面へ。



広谷台へ



左手に鬼の唐手岩を望みながらゆっくり上る 9時32分

	<p>分岐: 登り切ったら左へ 9時39分        右は進行方向の広谷台だが、鬼の唐手岩を見ずに通過するわけにはいかない。当然の如く左にある鬼の唐手岩へ。</p>  <p>サルトリイバラ</p>
	<p>5、鬼の唐手岩 9時40分        この岩の向こうに道はない。断崖絶壁なので、注意しよう！正面に周防台が見える。この岩は花崗岩で、約1億年前にマグマが深い地下で冷えて固まってできた岩脈が、長い年月をかけ隆起し地表に現れ侵食された結果、現在の形になったと考えられています。        (苅田町HPより抜粋)</p>



ザックだけを岩の先端に置いて記念撮影 9時45分 滝不動との高低差70m

寄り道した鬼の唐手岩を後にして、元のコースに戻る。

	<p>先程の分岐に戻ってきた <b>9時55分</b> 青龍窟から登ってきた分岐に到着したが、ここは直進して広谷台を目指す！</p>  <p>クルマバナ</p>
	<p><b>6、広谷台 10時01分</b> 鬼の唐手岩から10分程で、綺麗に整備された広谷台に到着。休憩せずに通過。</p>  <p>近くで熊蝉熱唱</p>



ネザサロードを歩きます！ **10時07分** 正面奥に貫山。右手に NTT の電波塔も見える



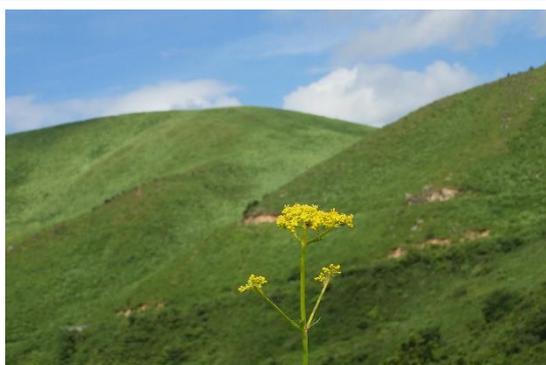
サイヨウシャジン



ノアザミ



振り返っても良い眺め 10時12分 右奥に周防台～桶ヶ辻の稜線



なんかいい感じ



サワヒヨドリ



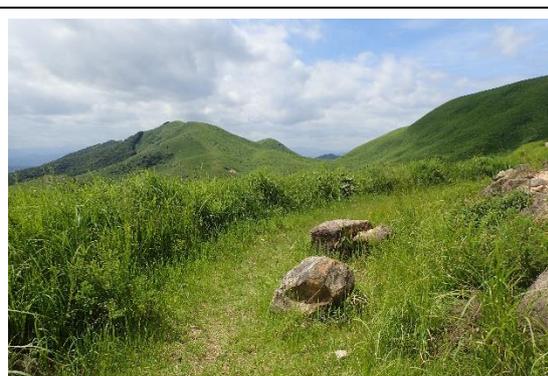
7. 舗装道路 10時17分 水分補給休憩  
気持ちの良いネザサロードの終点は舗装道路だ。ここから左の中峠方面へと進む。実は1分も歩くと分岐がある。車両通行止めの丸い標識があるのですぐにわかる。ここから入ると四方台方面へ上ることが出来るらしい。以前から辿ってみたい道だったので、今回挑戦することにした。さあ、貴山へGO！



分岐: 右の丸い標識の方へ入る 10時23分 さすがに夏、草が覆い茂っている。



少々藪漕ぎしながら進むと...



意外と歩き易い道になった



ヤシャブシの木の横を通り



いつものように実をアップで撮影



キキョウがあちらこちらに



カワラナデシコが風に揺れる

冷たい水が・・・ これが帰り水？



車両侵入禁止の金網ゲート 10時39分



ここまで道は一本道で迷うことはない。しかしゲートを越えると道は二つに分かれたような？



右？左？これは同じ道？ 10時40分

地図で地形などを見るが、ルートはわからず、上り勾配の左へ進んだ。進むにつれ、右手に貫山があるので、どこかで右に行かなければと思いつつ、台地が夏草で覆われ、分岐点がわからない。今、歩いている道は踏み跡がはっきりしているので、諦めて「もうこの道で行こう」と道なりに進むことにした。

金網ゲートを越えてから選んだ左の道がいけなかったのか？他に道があったのか？  
進むにつれ、目標の貫山は右後方にどんどん離れてしまう。逆方向だ～(悲)

	<p>T字路になった 10時52分 この道はいったいどこに通じているのか？と不安に思って歩いていると、T字路に差し掛かった。そこは四方台のすぐ近くだった。</p>  <p>四方台まで約100m</p>
	<p>ヤシャブシの木 10時54分 この木の下で休もうと思っていたら、既に先客が3人昼食タイムで寛いでいた。日陰のない平尾台の台地では、この木陰は夏場の貴重なオアシスとなる。仕方無いので、休憩を諦めて四方台へ！それにしてもジリジリと照り付ける太陽が恨めしい。水分、塩分補給は怠らず！</p>
	<p>8、四方台(よもだい) 10時55分 目指すは後方に聳える貫山。</p>  <p>618m</p>

四方台から貫山直下の鞍部まで下ると、そこは四差路になっている。

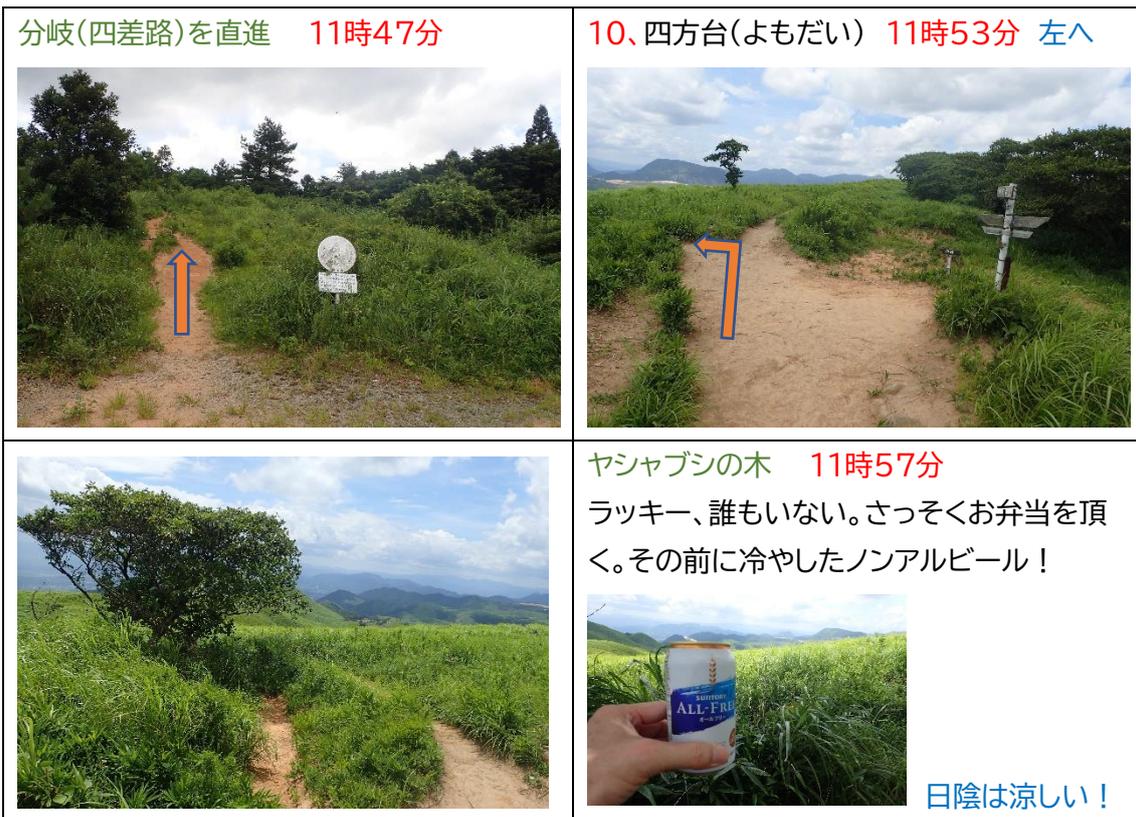
	<p>分岐(四差路) 11時01分 直進 ここから左に進むと林道塔ヶ峰線に続く。この分岐の右を見ると、草に隠れているが道があるようだ…。貫山は直進！</p>  <p>右側は草だらけ</p>
-------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

10時39分に通過した金網ゲートからこの四差路に通じる道がきっとあるはずだ！

先程の四差路から長い上り坂を約20分、汗を拭き拭き山頂までやってきた。



山頂の岩に腰掛けて休憩。遠くに英彦山の山並みや北九州空港が見える。  
しかし、残念ながら少し霞んでいる。山頂で昼食にしようかと思ったが、  
アブがたくさん飛び回って落ち着いて食べることが出来ない。  
勿論日陰などはない。  
昼食は四方台下のヤシャブシの木陰で決めて、早々に下ることにした。  
山頂には10分程の滞在だった。





さっと昼食を済ませ、四方台下のヤシャブシの木から中峠方面へ下山開始。 12時13分

	<p><b>T字路 12時14分</b>          ここは10時52分(青矢印)に左から出てきたT字路だ。草に隠れてわかり難かった。今回この道を覚えることが出来たのは大きな収穫だ。でも次は、貫山直下の鞍部にある四差路に通じる道を見付けないと…。平尾台のいろんな道がつながってくると面白みが出てくる。徹底踏査だ～(笑)</p>
	<p><b>ケルン分岐 12時19分 直進</b>          ここは直進。ケルンから右に下っていく道がある。この道はキキョウが沢山咲く斜面だ。</p> <div data-bbox="807 1715 1118 1921" data-label="Image"> </div> <p>風が出てきた</p>



ハバヤマボクチ(背景は小穴) 12時25分



カワラナデシコもたくさん咲いている



突然の雨 12時30分

風が強くなり、辺りが急に薄暗くなった。と思ったら雨が降り出した。空を見上げると黒い雲の塊が頭上を通り過ぎている。よりによって稜線を歩いている最中に・・・落雷などが頭を震め、ちょっとビビったが、雲が通り過ぎるとまたカンカン照りとなった。こんな時、傘はささない方がいいかも・・・。(反省)



岩山への分岐 12時37分 直進

ここから右に下ると、石灰岩がゴツゴツした岩山に行くことができる。



岩山遠望



岩山を背景にキキョウを撮影



分岐 12時47分 右へ

この分岐表示は古びて壊れかけている。日本語表記の文字盤が落ちてしまって残念だ。



修復希望

分岐から左に進むと、道はある。あるにはあるが、正面の周防台との鞍部の舗装道路までの激下りコースとなっている。



分岐から右に進むと、岩山を正面に見ながら緩やかに下ることになる。怖気づいた訳ではないが、今回は右の岩山方面に下る。



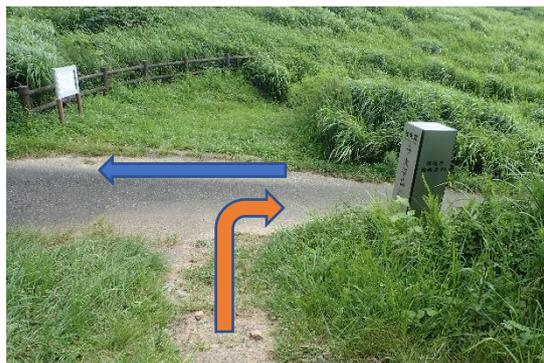
分岐 12時57分 左へ

先程の分岐から少々ヤブ漕ぎもあったが、約7分でまた分岐に出会った。



中峠へ

この分岐の近くで冷たいゼリーを食べながら、20分程、知人や友人とメール交換。



11、中峠 13時27分 右へ

とうとう舗装道路まで下ってきた。あとはこの道を歩くだけである。ホッとする瞬間。



あと少し



ノヒメユリは平尾台の夏の顔ですね 13時33分 背景は権現山



12、茶ヶ床園地駐車場 舗装道路を歩いて無事に下山 13時40分



男子トイレの中に燕の巣が・・・

今日は5時間40分の散策で、18322歩。まずまずの歩きだったが、年々体力の衰えを感じるようになってきたので、無理は禁物である。最近、コロナの影響でグループ登山が懸念されるようになってきた。いやなご時世であるが、これも仕方ない。こうなったらソロ登山を楽しもう。

広い平尾台。次はどんなコースを歩いてみようかな？ お疲れさまでした！